

# コシアカツバメ

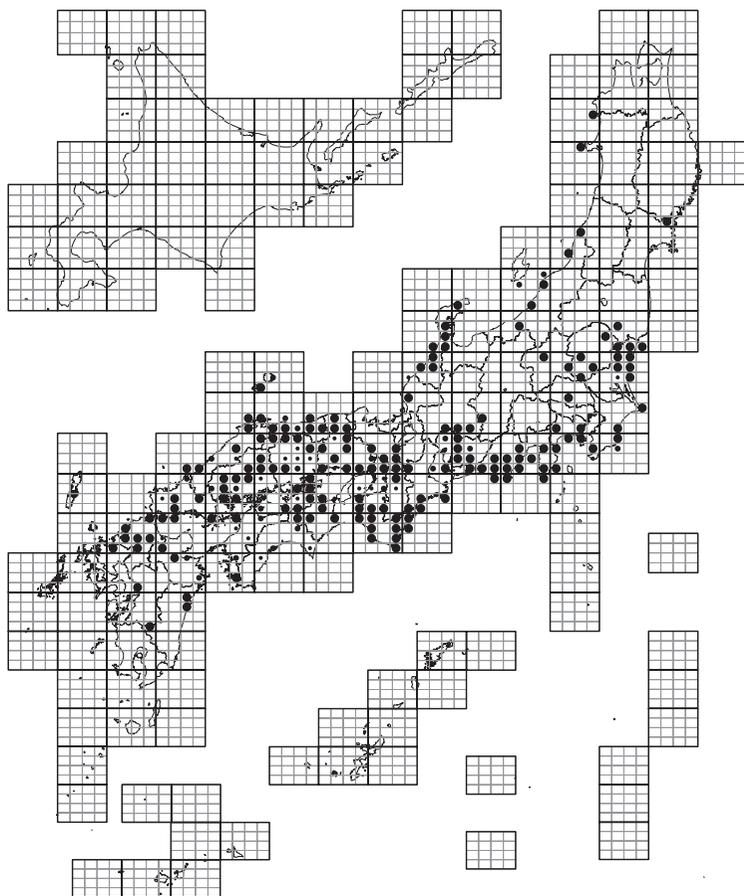
(分類) スズメ目ツバメ科 *Hirundo daurica*

(環境省 RDB 種) -

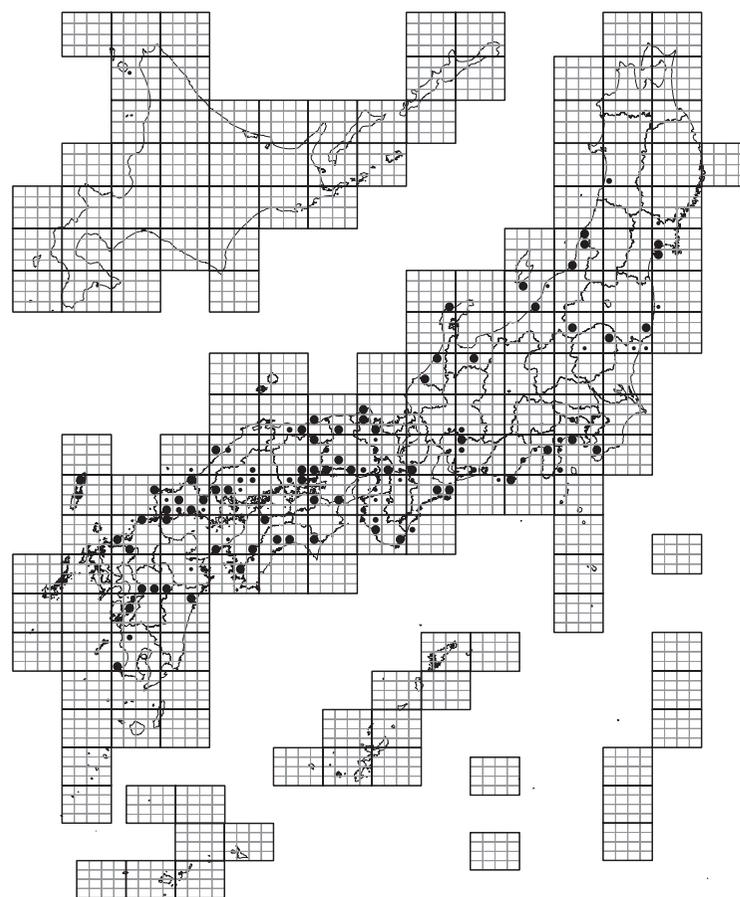
(分布) 九州以北で夏鳥。本州や四国などで一部越冬。東アジアからヨーロッパ南部、アフリカ中部に分布し、冬はアジア南部、アフリカで越冬。

(生態) 小集団で営巣する。住宅や人工構造物などに土と唾液を混ぜてとっくり型の巣をつくる。5～7月から3～4卵を約20日抱卵し、約20日で巣立つ。飛びながらハエやカなどの昆虫をとる。

1974年－1978年    メッシュ数   A = 164   B = 23   C = 27



1997年－2002年    メッシュ数   A = 67   B = 25   C = 38



# イワツバメ

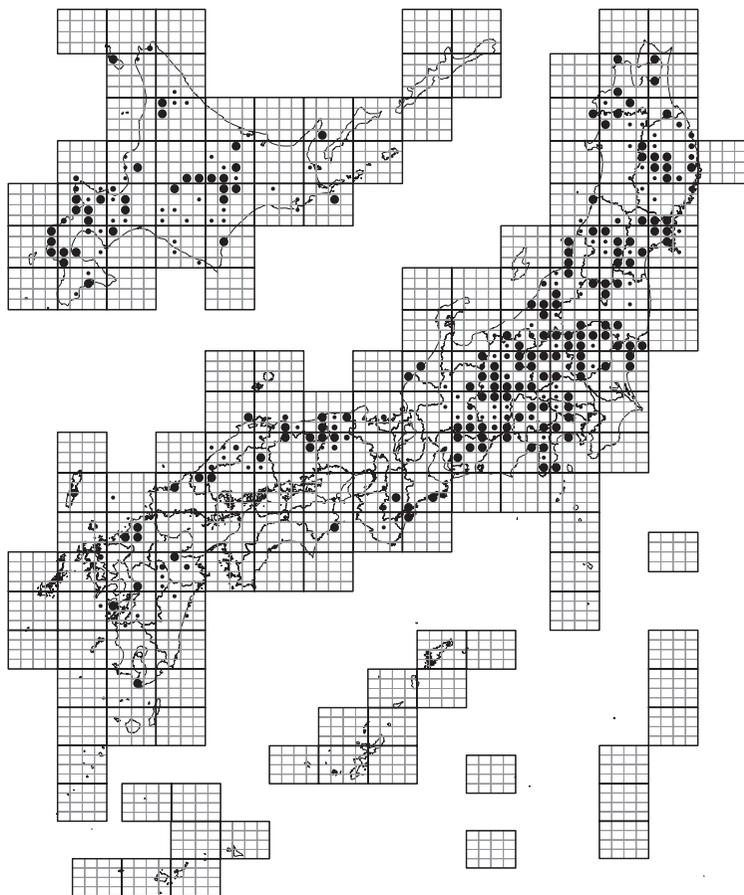
(分類) スズメ目ツバメ科 *Delichon urbica*

(環境省 RDB 種) -

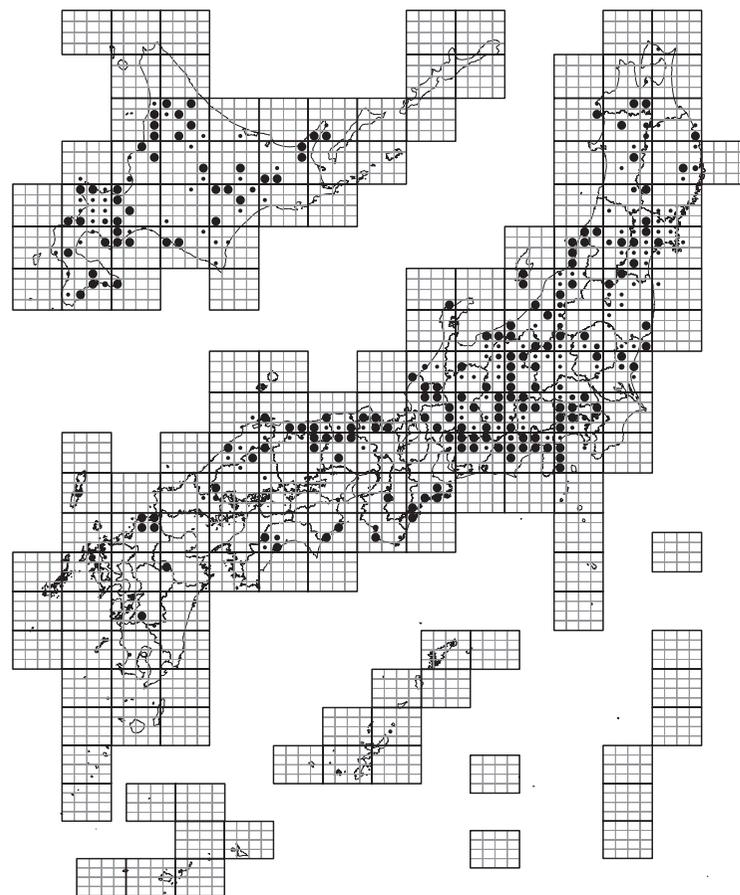
(分布) 九州以北で夏鳥。アジア東部および南部の温帯～亜寒帯で繁殖し、アジア南部で越冬。

(生態) 平地から高山にまで生息し、集団で人工構造物などに土と唾液を混ぜて壺型の巣をつくり、営巣する。3～7月から1～5卵を15日前後抱卵し、23日前後で巣立つ。飛びながら飛翔性昆虫をとる。越冬期には古巣をねぐらとする。

1974年－1978年    メッシュ数   A = 170 B = 35 C = 116



1997年－2002年    メッシュ数   A = 174 B = 23 C = 151



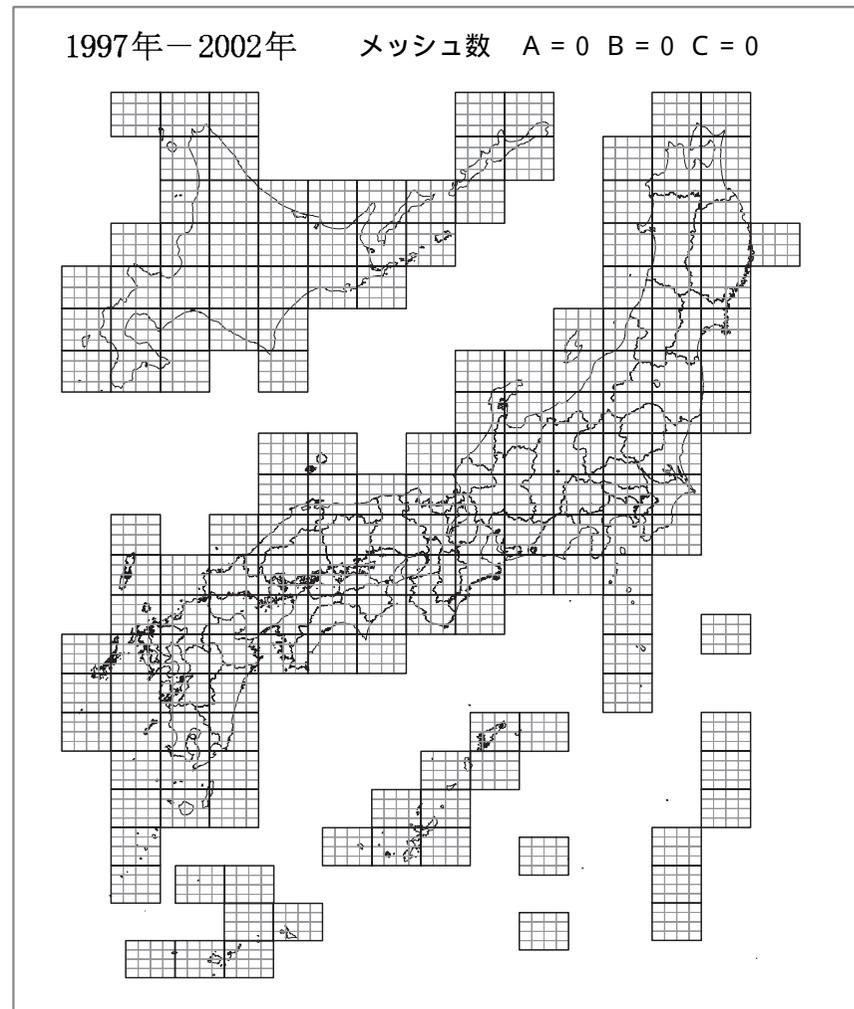
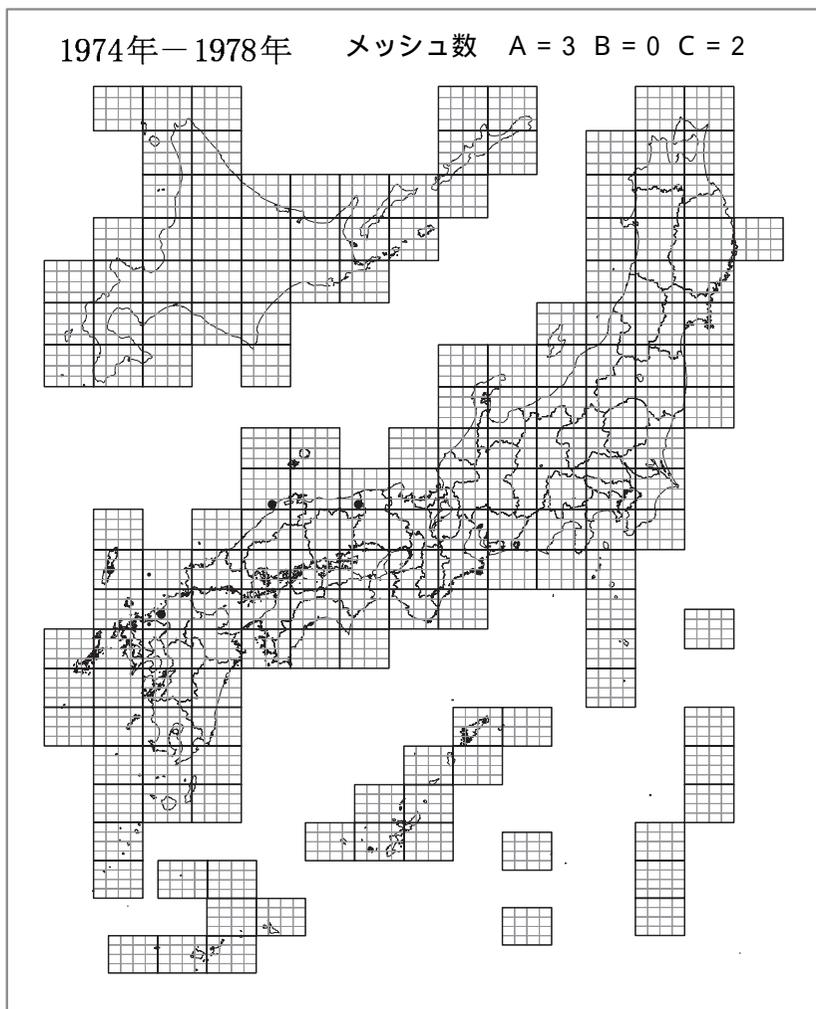
# イワミセキレイ

(分類) スズメ目セキレイ科 *Dendronanthus indicus*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 数少ない旅鳥で、1970年代に中国地方と九州で繁殖記録がある。アジア東部で繁殖し、南～東南部で越冬。

(生態) 繁殖地では樹林や疎林、果樹園などで営巣し、の樹枝上に枯葉や蘚類、枯草などをクモの糸で綴った椀型の巣をつくる。産卵期は4～7月で、4卵を雌が抱卵する。育雛は雌雄で行う。おもに昆虫類を捕食する。



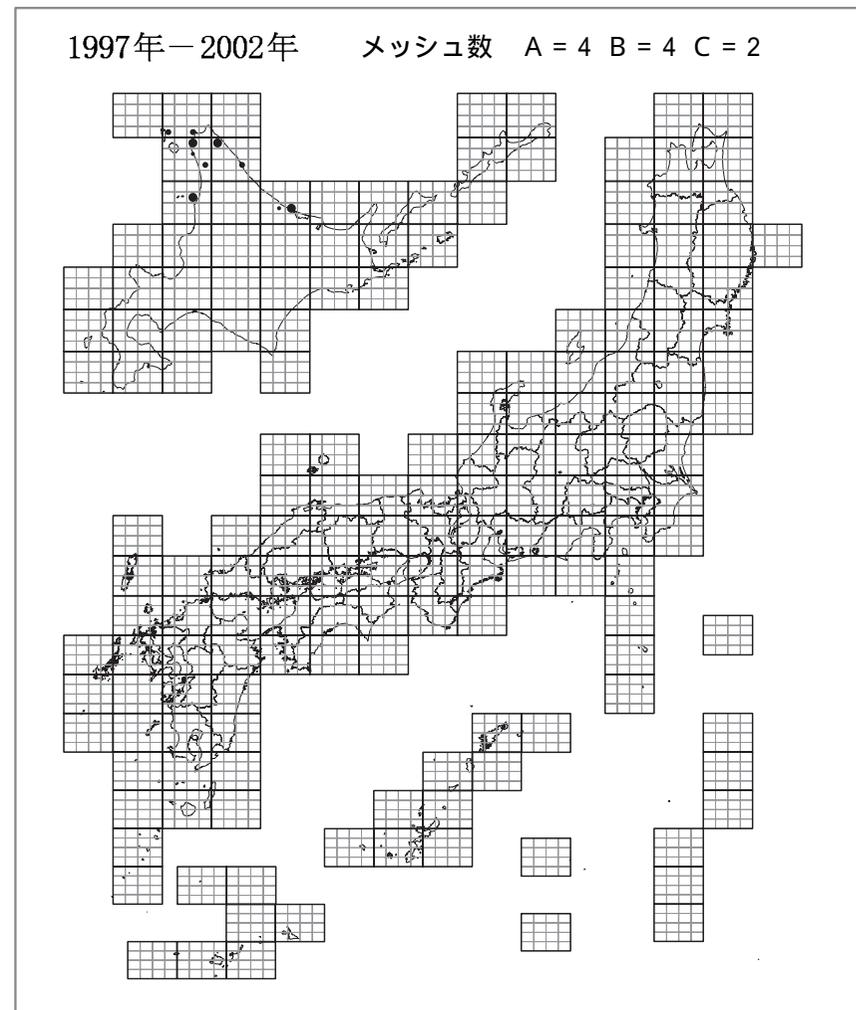
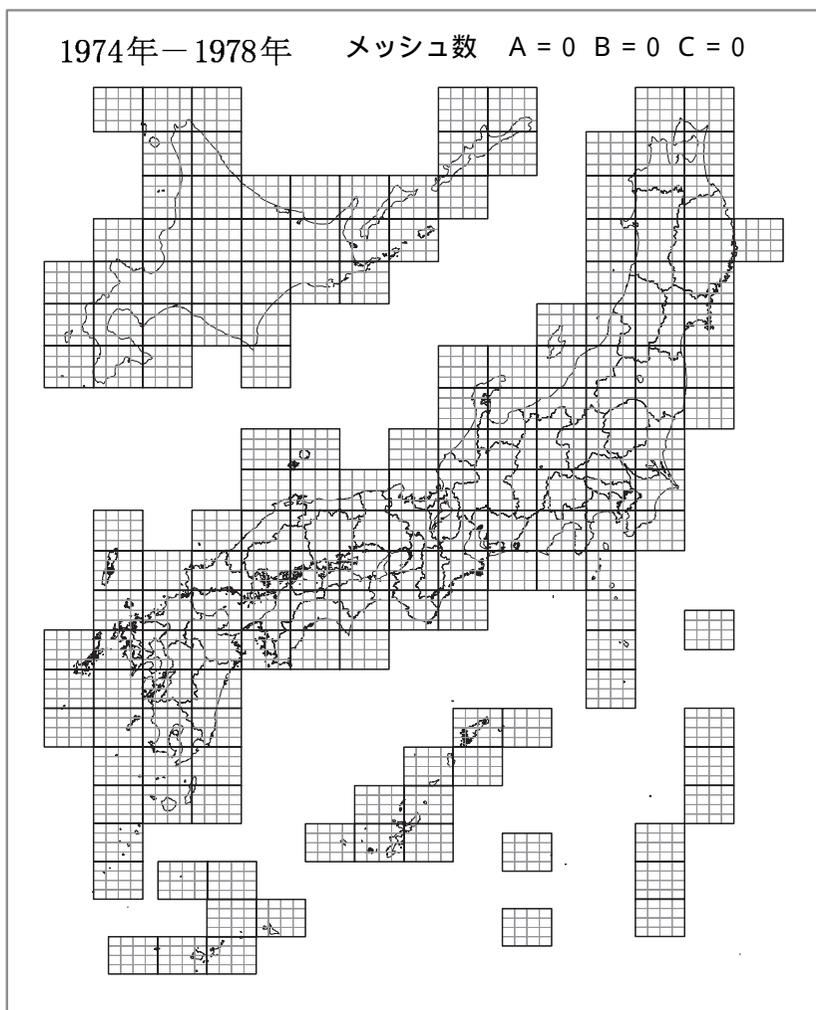
# ツメナガセキレイ

(分類) スズメ目セキレイ科 *Motacilla flava*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 北海道北部で局所的に繁殖し、他地域では旅鳥。南西諸島で冬鳥。北半球の中緯度以北で繁殖し、アジア南部からアフリカで越冬。

(生態) 農耕地や水辺に近い草原で営巣する。4～5卵を雌雄で抱卵、育雛を行う。地上を歩きながら昆虫類を捕食する。



# キセキレイ

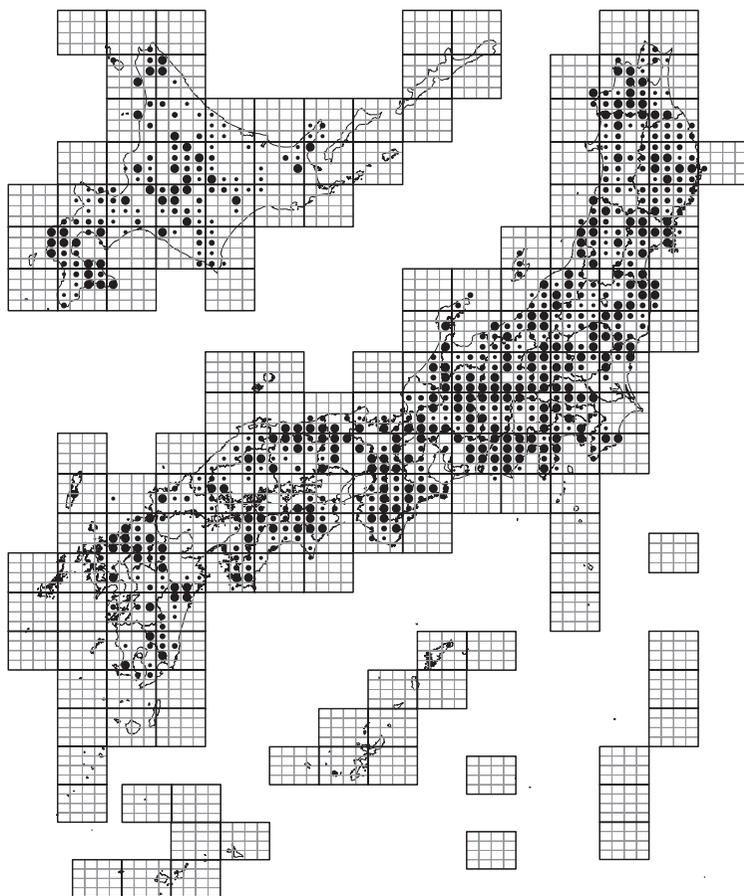
(分類) スズメ目セキレイ科 *Motacilla cinerea*

(環境省RDB種) -

(分布) 九州以北で留鳥。北地や高地のものは暖地で越冬するため、北海道で夏鳥、南西諸島では冬鳥。ユーラシアの中緯度で繁殖し、ユーラシア南部やアフリカの一部で越冬。

(生態) 低山から山地の河川の上流域で繁殖し、すき間や穴状の場所に営巣する。4～6卵を雌雄交代で12日前後抱卵し、13日前後で巣立つ。1繁殖期に2回繁殖する場合もある。水生昆虫の幼虫や昆虫類などをとって食べる。

1974年－1978年 メッシュ数 A = 265 B = 276 C = 166



1997年－2002年 メッシュ数 A = 143 B = 387 C = 217

